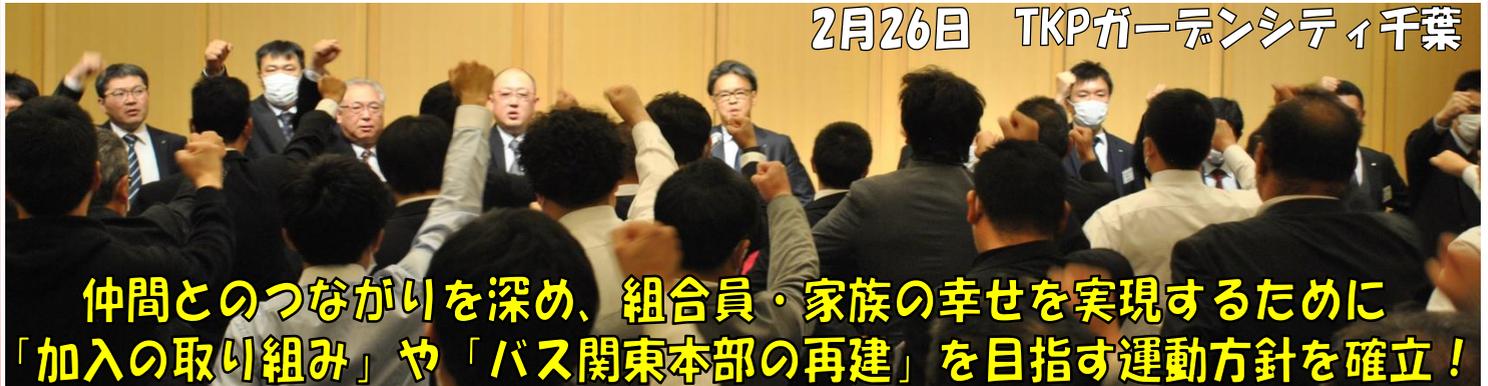




千葉地本「第40回定期地本委員会」

2月26日 TKPガーデンシティ千葉



仲間とのつながりを深め、組合員・家族の幸せを実現するために「加入の取り組み」や「バス関東本部の再建」を目指す運動方針を確立！

2月26日、千葉地本は「第40回定期地本委員会」を開催し、第46回定期中央委員会で確認した「新生JR東労組運動宣言」を基礎とした千葉地本の運動方針を満場一致で確認しました。

下村委員長挨拶では「組織分裂をつくるのは東労組に対する組織破壊行為、断じて許すわけにはいかない。3地本で騙された組合員の奪還、東労組で残る決意を固めている組合員と固く連帯していく」「会社施策は検証運動を強化し、団体交渉を通じて労働者の魂の入った施策へとつくり変えていく」「20春闘集会は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し中止としたが、本部交渉を支えるために職場集会や本部への激励行動などを行い要求を実現しよう」など挨拶がありました。

委員からは「再加入の教訓的な実践」「自然災害被災者への支援行動を通じて東労組の重要性を実感したこと」「過半数代表選のたたかい」「組織破壊を許さない、東労組に結集する仲間と固く連帯する」「輸送混乱の現実」「バス関東本部の再建のために、中央本部執行部員と専従を決意した宮田組織担当部長を全力で支え、バスの仲間と共にバス関東本部の再建を目指そう！」など、13名から職場での実践的な発言や仲間と連帯していく発言が多くありました。

千葉地本は、これからも組合員の声を大切に「新生JR東労組運動宣言」を愚直に実践し、組合員の雇用と利益を守り、家族の幸せを実現するために労働組合の立場で各施策に向き合っていきます。そして、今も職場で頑張っている組合員の信頼を積み上げ、全組合員で新規・再加入の取り組みをしていく方針とスローガンを満場一致で確認し、成功裡に終了しました。

委員会宣言

JR東労組千葉地本は2月26日、TKPガーデンシティ千葉において第40回定期地本委員会を開催し、定期大会までの運動方針と「新生JR東労組運動宣言」を基に、職場から挑戦していくことを満場一致で確認した。そして、20春闘をJR総連統一闘争として、JR総連に結集する仲間と共にたたかい抜いていく。私たちは、18春闘で情勢分析と運動の誤りを反省して「大敗北」と総括して以降、「新生JR東労組運動」で組合員からの信頼回復、そして離脱した仲間の再加入や新規加入を目指して運動を創り出してきた。

委員からは、東京オリンピック・パラリンピックの成功や安心して働きやすい環境をつくるために施策や災害に対して労働者として向き合ってきたことや、レクや人間関係づくりを通じた組織拡大の実践報告など、多くの力強い発言があった。日々発生する職場での問題は、各分会での議論の積み上げで団体交渉へと押し上げたことで、職場環境の改善や労働協約の締結に繋げることができた。

また台風や豪雨により多くの組合員が被災した。現実を受け止め、組合員と共に被災された方々の元へ支援物資を届けてきた。そして、全国の仲間は多くの支援物資などを千葉地本へ届けてくれた。災害という危機的状況であったが、ヒューマンイズム溢れる東労組運動を通じて、助け合いや支え合うこと、組織の大切さを実感することができた。世界的に異常気象が発生していることを考えれば、これからも激甚災害が発生する可能性が高い。今こそ各機関で防災・減災の取り組みを強化し、災害に強い職場をつくる必要がある。

組織強化・拡大に向けて、分会旅行や歓送迎会、支部主催レクや集会を開催し、多くの仲間が参加したことで、仲間の大切さを実感して、再加入の実現や組織の団結を打ち固めてきた。特に、バスの仲間は多くの新規加入を実現して、千葉地本の組織拡大に向けた運動をリードしてきた。この組織強化・拡大を実現した根拠は、各機関の役員と組合員が一体となって人間関係づくりを職場で積み重ねてきたからである。

定期中央委員会では、3地本の委員・傍聴者は逃亡し、組織破壊組合を立ち上げた。組合員を嘘・誤魔化して置き去りにして裏切り、組織破壊者の道を歩み、争議団化していく組織に明るい未来はない。いつまでも一部役員によって、組合員を振り回す行為を断じて許さない。千葉地本は東京・水戸・八王子地本の良識ある組合員を救うために、あらゆる場で対話して事実を明らかにしてきたことで、新生JR東労組で共に歩む仲間が立ち上がり、「JR東労組東京地本を守る会」「組合員のためのJR東労組を守る八王子の会」が結成された。千葉地本は東京・水戸・八王子地本で奮闘する仲間を中央本部と共に支えていく。

また、バス関東本部でも一部指導部の嘘・誤魔化しにより、ジェイアールバス関東労働組合が立ち上げられた。組合員を引き回した挙句、組織を破壊した行いを断じて許すことは出来ない。厳しい組織現実の中、組織の立て直しのために千葉地本執行委員の宮田組織担当部長がバスの仲間のために専従を決意し、中央本部執行部員の指定を受けた。全力でバスの仲間を支え、バス関東本部の再生を目指していく。

千葉地本は、組合員の雇用と利益を守るため、仲間の声を基に、組織強化・拡大を進めていく。夢や希望が持てる明るい未来を私たち自らの手で切り拓くために、明るく笑顔で「新生JR東労組運動宣言」を実践していこうではないか！

以上、宣言する。



議長 永久委員(津田沼)



本部専従を決意した
宮田組織担当部長



20春闘勝利に向けた檄を
山口委員長に手渡す！

2020年2月26日
東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部
第40回定期地本委員会

組織破壊策動に騙されず、「新生JR東労組」に結集しよう！